



進路だより

大阪府立東淀川支援学校

令和8年7月14日

第4号

進路だより第4号では、高等部の校内・現場実習の内容をお伝えします。

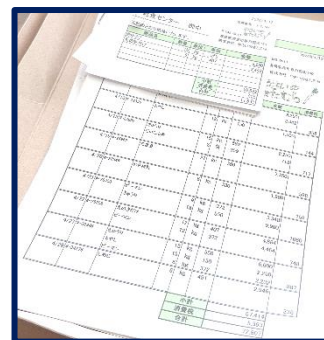
高等部1年

高等部1年生にとって初めての校内実習を実施しました。実習ではステップルの組み立てやビスの袋詰めなどの軽作業に取り組みました。生徒たちは、これらの製品が実際に店頭で販売される商品であることを意識して「正確に」「丁寧に」を心掛けながら作業を進めました。初めての実習で戸惑う場面もありましたが、その都度やり方を確認しながら最後まで意欲的に取り組む姿が見られました。今回の実習を通して、働くためには集中力や最後まで責任を持って取り組むことの大切さを学ぶことができました。この経験を今後の学習や次回の実習につなげ、一人一人の力をさらに伸ばしていけるように支援していきます。



高等部2年

2年生は4班に分かれて取り組んだ実習内容の一部を紹介します。ビスの袋詰めでは数量を確認して袋詰め作業、ホッチキスで封をする作業をしました。特にホッチキス作業が難しく、力加減や位置に気を付けました。ステップルでは、ステップルの組み立て作業と不良品の検品作業、箱詰め作業に分かれて取り組みました。箱詰め作業では、箱に穴が開かないよう丁寧に入れることを意識して取り組みました。今回、初めて排水溝の洗浄剤の梱包作業がありました。不良品の検品、袋にフックを添えて楕円シールを貼る作業、梱包作業に分かれ、検品に繰り返し取り組みました。2年生になり、一部の生徒は現場実習（企業等）に参加していきますが、それぞれが自分の課題と向き合い、次のステップへとつなげていけるように支援していきます。



高等部 3 年

これまでより日数が増え「2 週間」の実習に取り組みました。多くの生徒が現場実習（生活介護、就労継続支援 B 型、就労継続支援 A 型、就労移行支援、自立訓練事業所、企業）に挑みました。緊張や不安も大きかったと思いますが、いつもとは違う環境の中で卒業後の進路を見据えて 1 日～5 日間（企業は 2 週間）頑張りました。実習後は「頑張った」「卒業後はここで働きたい」と前向きな感想だけでなく、「実習先で指摘されたことを今後の学校生活でも意識して取り組んでいきたい」と今後の成長へ向けての意欲的な感想を述べていました。

校内実習では、ステップルの組み立てや箱詰め、ビスの袋詰め、ぬめりとり用の箱詰めなど実際に市販される商品を取り扱いました。「丁寧に」「ミスなく」を意識して作業に取り組むことができました。また、「できました」「確認お願いします」などの報告・連絡・相談を自発的に行うことができる生徒も増えてきました。

自分にできること、得意なことだけでなく苦手なことなど各々の課題を見つめ直し、卒業後の進路を考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。卒業まであと少しです。この経験が今後にいかせられるように、生徒一人ひとりのキャリア形成を支援していきます。

